



# 神戸医協ニュース

617  
2015. 11. 1

発行／神戸医師協同組合 発行人／恵美裕一郎 〒651-0067 神戸市中央区神若通3-2-15 電話 (078) 241-8991(代) <http://www.kobe-ishikyo.or.jp>

## 紙上ギャラリー



### M27 亜鈴星雲

この時期には、沈み行く白鳥座の南に、本来なら夏から秋にかけての代表的な星雲として知られている。こぎつね座に存在する惑星状星雲であり、視直径が大きいため望遠鏡でも比較的に見やすい。

筋トレに使用する鉄亜鈴に似ているため、この名が付いており、この星雲は3000~4000年前に爆発が起こった星の名残であるが、とにかく美しい。

写真提供：岡村龍一郎（小野市）

## お客様の中でお医者さんはいらっしゃいませんか

理事 岡田 実

昨年、神戸医師協移動理事会（関東サワイ工場見学）において、新幹線のぞみ車中名古屋駅を過ぎたとき車内放送あり。「君の出番だよ。」と周囲から声があり、「よっしゃ、行って来る。」と何かのときの連絡係と看護助手として事務局のM君を連れて往診する。

5~6両歩いたところで2名の若い女性客室乗務員が待っていた。50代の女性（夫婦連れ）が座席にすわったまま多量の尿失禁をしていて意識障害があるとのこと。足元にはズブぬれの新聞紙が置いてあった。患者はぼんやり座席にもたれていて眼の焦点が定まらない感じ。同伴の夫に「何か持病はありませんか、心臓が悪いとか、てんかんがあるとか？」と聞くが、口ごもってははっきりした返事をしない。夫の様子と患者の状態から見て、てんかん持ちで旅行中に薬を飲んでなくて発作を起したのだろうと考えていた。乗務員に血圧計と聴診器を用意させ、診察する。血圧正常、脈拍正常、特に異常を認めない。5分ほどしているうちに、患者はかなりはっきりして来たようで「もう大丈夫です。」と話ができるようになった。「立ってみて下さい。」しっかり立てる。揺れも麻痺もない。ほっとひと安心する。

医師になって約40年経つが、飛行機内で2回、新幹線内では3回目の往診となった。いずれも軽症であっ

て私自身はたすかっている。ひと安心すると「意地悪ごころ」もちょっと出て、客室乗務員に「次の通過駅はどこですか？」とわざと暗い顔で聞く。「静岡です。臨時停車しなければいけませんか？」と真剣な顔をして答える。緊急時の対応もわかっているではないか。「うーん。東京駅までは大丈夫でしょう。その時点で、病院受診するか自宅に戻るか判断して下さい。」少し演技が過ぎた。今は反省している。

飛行機内でも新幹線内でも聴診器はあまり役にはたちません。騒音が強くて心音がかすかに聞こえる程度で、心雑音・呼吸音・腸雑音は殆んど聞こえません。診察後、乗務員から住所とお名前を教えていただけなかったとのこと。医院名の入った名刺を渡した。ニセ医者だったら困るとでも思ったのか？ いや違った、数日後、自宅に JR 東海よりお礼の手紙と3千円の図書券が送られて来た。昔とは違う。

さて本題です。関東サワイ工場は千葉県にあり、高橋英樹のTV コマーシャルにも出ていましたが、近代設備で品質管理のゆき届いた工場でした。ジェネリック薬品が多数の会社から販売されていますが、神戸医師協の勧める薬品をよろしく御願ひ申し上げます。